

様式2【後期】

令和8年度中堅教諭等資質向上研修【後期】教科指導研修シラバス

小・中学校 国語科 教科指導研修

※ 当センターでは、駐車スペースが限られること、また、周辺では交通渋滞が発生しやすいため、来所の際は、できる限り、公共交通機関を利用すること。

1 研修日程

(研修者：小学校78人、中学校33人)

期 日	時 間	研 修 内 容	会 場
第1日 <Aグループ> 6月23日 (火)	9:00~ 9:30	受付<総合教育センター大講義室A102>	総合教育センター 大講義室A102
	9:30~ 9:45	オリエンテーション	
	9:45~10:30	【講義：国語科における今日的課題】 総合教育センター研究指導主事	
<Bグループ> 6月26日 (金)	10:30~11:00	移動（レポート丁合を含む）	6/23（火） 講義室A201 講義室A202 講義室B102 6/26（金） 大講義室A102 講義室C102 情報実習室C103
	11:00~12:00	【研究協議Ⅰ：「読むこと」に関する「主体的・対話 的で深い学び」の実現に向けた学習指導について】 小学校部会講師 小学校教諭（2名） 中学校部会講師 中学校教諭（1名）	
	12:00~13:00	休憩	
前後期 小中合同	13:00~16:10	【研究協議Ⅱ：「読むこと」に関する「主体的・対話 的で深い学び」の実現に向けた学習指導について】 小学校部会講師 小学校教諭（5名） 中学校部会講師 中学校教諭（2名）	6/23（火） 講義室B201 講義室B202 講義室B301 講義室B302 講義室A201 講義室A202 講義室B102 6/26（金） 講義室B102 講義室B201 講義室B301 講義室B302 大講義室A102 講義室C102 情報実習室C103
	16:10~16:30	教科指導研修の振り返り（振り返りシート記入） 諸連絡	

第2日 8月28日 (金) 小中合同	9:00~9:30	受付<総合教育センター講堂>	総合教育センター 講堂
	9:30~10:00	オリエンテーション	
	10:00~12:30	【講義：求められる資質・能力と小中学校国語科の授業と評価】 講師 大学教授	
	12:30~13:30	休憩	
	13:30~16:10	【研究協議：「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の実践報告】 小学校部会講師 小学校教諭（5名） 中学校部会講師 中学校教諭（2名）	大講義室A102 講義室A202 （分割使用） 講義室A203 （分割使用） 講義室B102 講義室B302
	16:10~16:30	教科指導研修の振り返り（振り返りシート記入） 諸連絡	

2 連絡事項（課題等）

連絡事項 (課題等)	第1日	<p>【研究協議Ⅰ・Ⅱについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中堅教諭等資質向上研修前期研修者とグループをつくり、前期研修者の学習指導について練り上げる。 <p>【課題及び提出について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし <p>【持ち物について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領（平成29年告示）解説 国語編（所属校種のもの）
	第2日	<p>【課題及び提出について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出課題 『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善の実践報告 ・課題様式 A4判1枚（記入例参照） ・提出期限 令和8年7月7日（火）必着 ・提出方法 <u>郵送または持参</u> 3部 <p>【持ち物について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題作成に使用した教科書、<u>提出課題（当日持参分）</u> 6部

3 課題様式（記入例）

令和8年度中堅教諭等資質向上研修【後期】 教科指導研修 小・中学校国語科

所属校		受講番号							
テーマ	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の実践報告								
1 単元名と実践学年（※1）	（章立ては、左記のとおりとする）								
2 実践のねらいと手だて（※2）	個人情報の取り扱いに十分留意し、特に児童生徒の個人名及び男女の区別は記載しない。								
3 実践の内容（※3）	課題は、事前に3部を提出（郵送または持参）し、当日は6部を持参する。								
4 成果と今後の課題（※4）									
<p>【課題作成上の留意点】</p> <p>（※1）今年度の実践を原則とする。今年度の実践でない場合は、（令和〇年度）と記載する。</p> <p>（※2）「2 実践のねらいと手だて」においては、児童生徒のどのような資質・能力を育成するための取組か、そのためにどのような手だてを講じたかを明らかにして書く。</p> <p>（※3）「3 実践の内容」においては、単元の全てを記載するのではなく、「2 実践のねらいと手だて」を踏まえて、重点的に記述する。</p> <p>（※4）「4 成果と今後の課題」においては、児童生徒の学びや姿から、本実践の成果を記載する。その一方で、実践を通して明確になった更なる課題についても記述する。また、本実践だけでなく、日頃の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた取組の中で、課題や疑問、明らかにしたいこと等について記述してもよい。</p>									

- （注）・受講番号については、実施要項添付の名簿を参照する。
- ・A4判縦長横書き。枚数は1枚（2ページになるときは両面印刷とする）。
 - ・字の大きさは、10.5ポイント。
 - ・文字数は、1行35から45文字程度、1ページ30から40行程度。

4 課題送付先

〒444-0802

岡崎市美合町字並松1番80

愛知県総合教育センター学校支援研究課教科研究推進G（本多） 宛て

※封筒の表左隅に「中堅教諭等資質向上研修【後期】小・中学校国語科課題在中」と朱書きする。

5 問い合わせ先

担当 学校支援研究課教科研究推進G（本多）

電話 0564-83-9140（ダイヤルイン）